

就任のごあいさつ



城里町副町長
小山 一夫

おやま かずお(略歴)
城里町那珂西在住 68歳
元常北町総務課長

町民の皆様には、ますますご健康のこととお慶び申し上げます。

私、この度、4月1日付けをもちまして副町長を拝命いたしました。職責の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

ご承知のとおり去る3月11日に発生した東日本大震災は戦後最大の規模で、亡くなられた方と被災された方々に心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

当町では、家屋や塀の損壊など個人住宅等に多くの被害を受けたほか、役場本庁舎をはじめ学校施設や公民館など、公共施設にも甚大な被害を受けました。現在、復興に向け道路や施設等の修繕・整備について事業を進めているほか、各種被災者支援

制度等に基づく支援を行うための準備を進めているところでございます。

さて、近年、地方分権が進展し、地方自治体には自立した行政運営が強く求められているなか、地域の特性を生かしながら、活力と安定を生み出していくことが大きな課題となっております。当町におきましても、財政の健全化を進めながら、町民の皆様のご期待に応えられるような町政運営を行うていくことが大切であると考えております。

城里町の美しい水と緑を守りながら、少子高齢化の進むなかで地域が支えあう元気なまちづくりを推進するため、阿久津町長を補佐し、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

もとより、浅学非才ではございますが、町民の皆様方のご指導をいただきながら「人と自然が響きあいともに輝く住みよいまち」の実現のため自己研鑽を重ねてまいりたいと考えております。何卒一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成21年度町教育委員会の事務事業の外部評価結果をお知らせします

教育委員会では、平成21年度に実施した事業の事務の管理と執行の状況について、学識経験者で組織する「城里町教育委員会外部評価委員会」による点検及び評価を行いました。この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんに対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

【評価対象事務事業】

平成21年度に実施した事業のうち、平成20年度外部評価の指摘事項を参考に抜粋した15事業

- 幼児教育・学校教育の充実／8事業(ALT設置事業、自然の中での長期宿泊体験事業(3校合同)など)
- 生涯学習・生涯スポーツの推進／6事業(町民運動会、ふれあいの船事業など)
- 芸術文化の振興／1事業(自主事業)

【評価方法】 妥当性・有効性・効率性の3つの項目で、それぞれ4段階で評価しました。

【外部評価委員】 三村 亮一(錫高野)、住谷 里子(那珂西)、富永 郁夫(磯野)

【評価内容】 ※4は評価が高く1は評価が低い。

今回対象とした15事業のうちおよそ半数の8事業についてはすべての項目が最高値で、一定の成果を残しており順調であると評価されました。この結果を受け、今後の事業の取り組み方針を検討していきます。

※報告書の詳細については、城里町ホームページをご覧ください。教育委員会事務局で閲覧することができます。

問合せ 教育委員会事務局(常北公民館内) ☎029-288-7010
<http://www.town.shirosato.ibaraki.jp/kyouiku/>

妥当性	有効性	効率性	事業数
4	4	4	8
4	3	4	1
4	3	3	1
3	3	3	3
3	3	2	1
1	2	1	1